



**日高管内
青少年体験活動推進事業**

ひだか未来塾

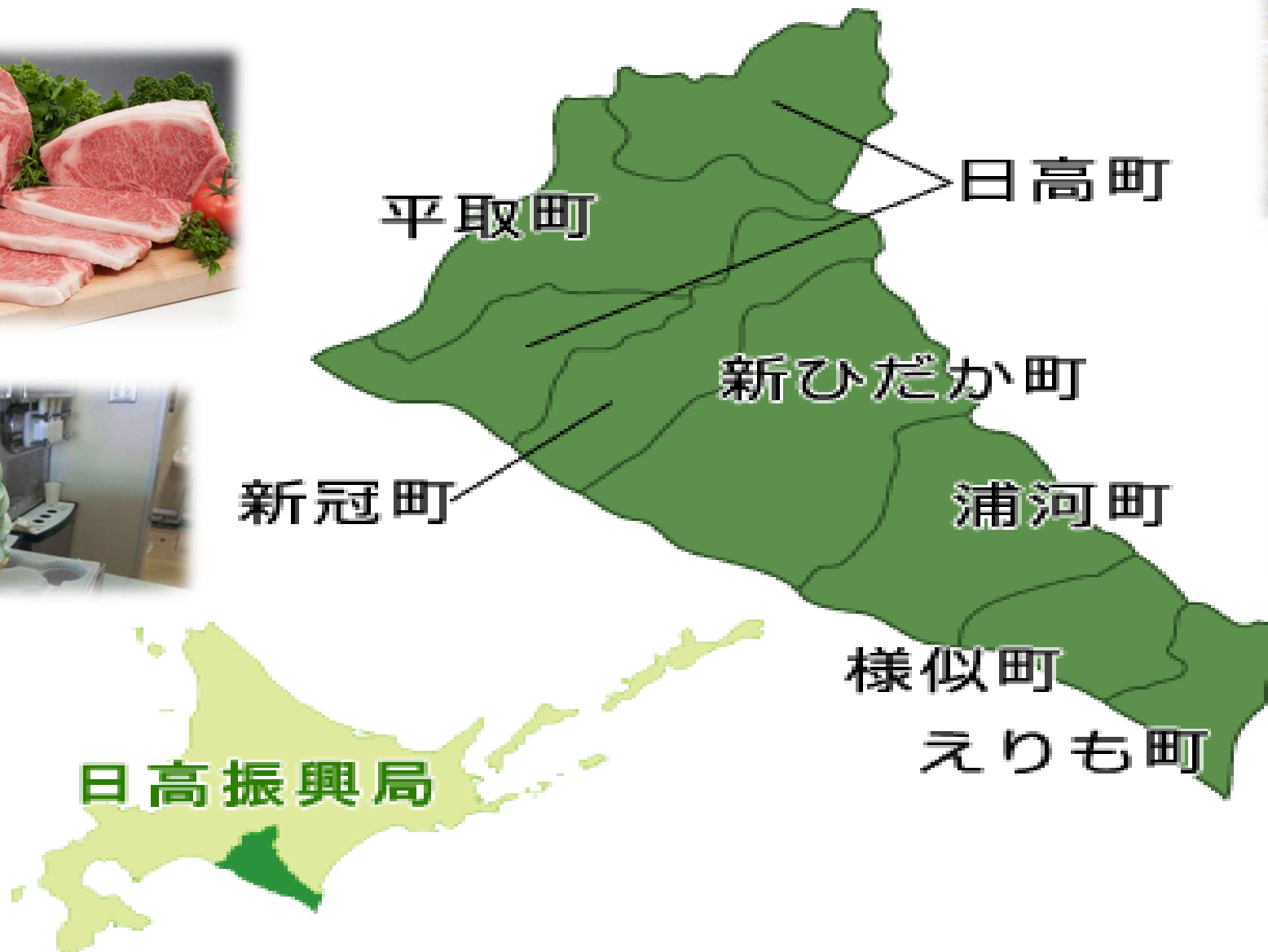
～LGBTQへの理解促進～

**発表者：平取町教育委員会
窪田 奨平**

日高管内ってどこ？



日高昆布



最近の出来事



日本最大の広さを誇る

日高山脈襟裳十勝国立公園

2024年6月25日、誕生！



ひだか未来塾について

目 的 中学生・高校生が他町の参加者との交流、地域課題の解決に向けた協議等を行う



地域の良さを客観的に見つめる視野
ボランティア活動等の地域活動に主体的に参画する意欲・態度を身につける

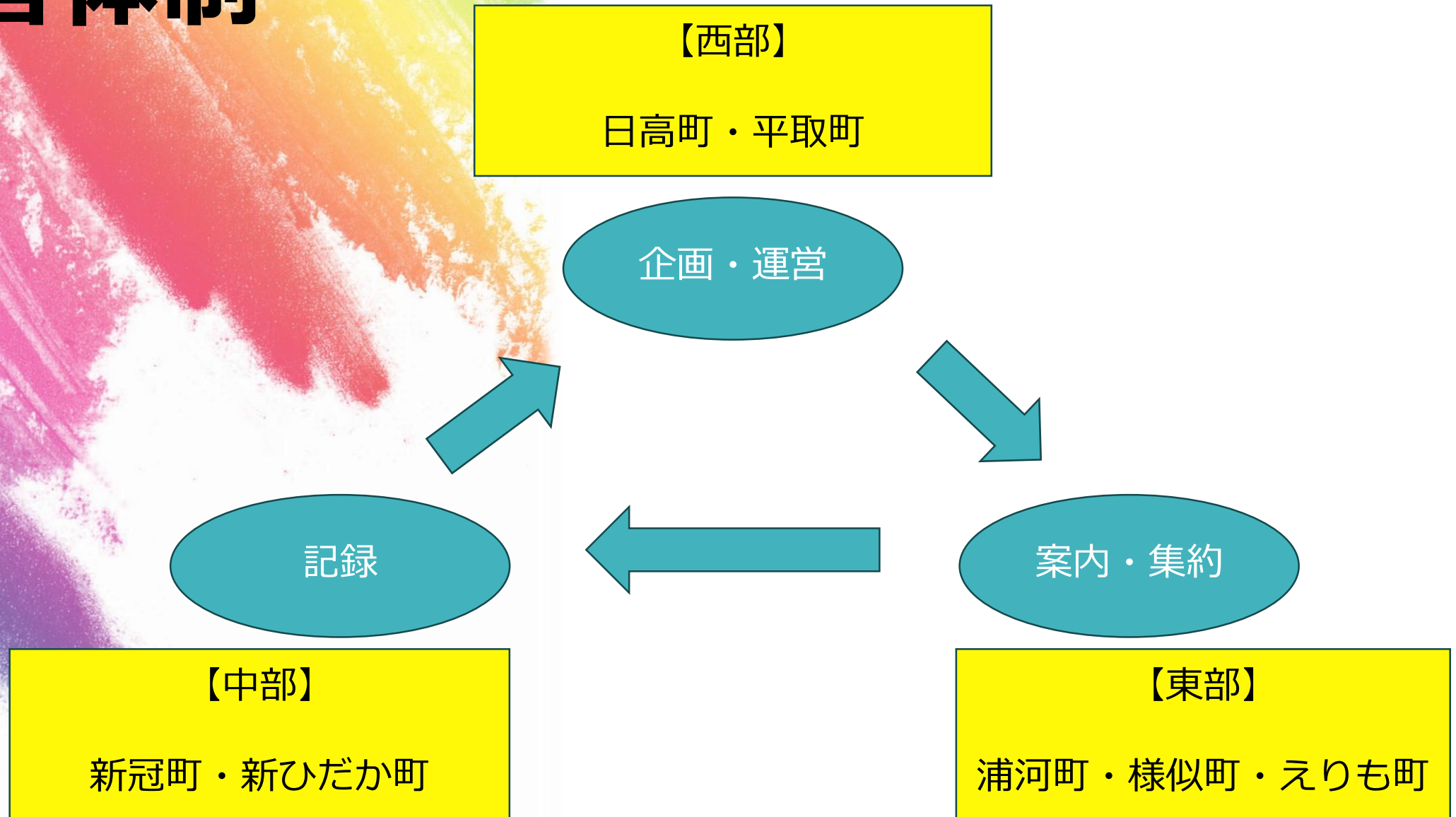
ひだか未来塾について

主 催 日高管内社会教育職員研究協議会
日高管内社会教育主事会

後 援 北海道教育庁日高教育局

参加対象 日高管内の中学生・高校生
日高管内各町教育委員会職員
学校関係者（教員等）

運営体制



どんなことを実施している？

R4年度

環境 ECOに関すること

R5年度

障がい者スポーツを知ろう



浦河町 電気自動車の取り組みについて



ワークショップ



実技 各種競技用車いす体験・フライングディスク体験等

R6年度研修テーマ

性の多様性を知り

相手の気持ちを尊重する

相互理解のため私たちが出来ること

当日スケジュール

受付	9 : 30 ~ 10 : 00
開会式	10 : 00 ~ 10 : 10
講演	10 : 10 ~ 11 : 20
ワークショップ①	11 : 20 ~ 11 : 50
質疑応答	11 : 50 ~ 12 : 10
昼食	12 : 10 ~ 13 : 00
ワークショップ②	13 : 00 ~ 14 : 40
閉会式	14 : 40 ~ 14 : 50

講

演

～LGBTQへの理解促進と
私が再び笑顔を取り戻すための道のり～

名前：満島てる子 氏
(本名：杉山和希 氏)

三重県桑名市出身
北大文学研究科修士課程修了

HBC「sitakke」にて
お悩み相談コラムを担当

HBC「今日ドキッ！」の
コメンテーター

7丁目のパウダールーム店長
(すすきの)



「LGBTQ」って何？

- 最近使われるようになってきた「LGBT」とは、右の4つのセクシャリティ（性のあり方）の頭文字をとってできている単語です。
- この4者に限った言い方ではなく、性的マイノリティの総称として用いられる場面が特にメディアなどでは多くなっています。
- 近年ぐっとこの語を知っている人が増えてきており、調査によっては全国の9割を超える人がLGBTという単語をきいたことがあると回答しています。

セクシャリティ	意味
Lesbian (レズビアン)	女性として女性が好きな人 女性同性愛者
Gay (ゲイ)	男性として男性が好きな人 男性同性愛者
Bisexual (バイセクシャル)	性愛（スキ）の対象が 男女双方でありうる人
Transgender (トランスジェンダー)	性のあり方について、生まれたときに「これ」と言われ戸籍上登録されたものと異なるありかたを選択する人

カラダの性



ココロの性



スキになる性



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

● 男性 ● 女性 ● 男性・女性

参加者から講師への質問

自分の性の在り方について
親に相談したことがあります
が話を逸らされてしまいます。

何か良い方法はありますか。

講師から参加者への回答

伝える手段として手紙に自分の想いを書いて文字で伝えてみてはいかがでしょうか。

どうしても理解してもらえない場合は親と対立する覚悟を持たなければいけない時がくるかもしれません。

午後のワークショップ



① 学校でLGBTQの友達が困ることを考えてみよう

② 未来の学校や街の話をしよう
(どんな学校や街になれば良いと思う?)

③ 未来に向けた言葉を作ろう
(街に貼るLGBTQ促進のポスターを作るとしたらどんな題名にする?)



① 学校でLGBTQの友達が
困ることを考えてみよう

- ・相手にどこまで相談するか、どこまで話し合えるかが
- ・高学年者と周回との位置感の違い
- ・社会的、法律的、宗教的ルールにばかり
- ・服装や施設の利用時に誤解を招いたり、
犯罪になってしまったりおそれがある。
- ・運動の競技のやり方、点数差について

③ 未来の街の話をしてしよう
(どんな街になれば良いと思う?)

- ・LGBTQが社会にもっと理解され
認められる社会にする。
- ・公平ではなく、平等に。

② 未来の学校の話をしてしよう
(どんな学校になれば良いと思う?)

- ・LGBTQの方用の学校を作る。
- ・学校のイベントや授業にLGBTQに
取り入れる
- ・公共施設やスポーツ競技でLGBTQの人
が不快感なく使えるような施設やルールの
設定を行う。
拡充

④ 未来に向けた言葉を作ろう

- ・公平ではなく平等に
個性はみんな違う人間だ
- ・100万色の中のみんな

参加者が感じたこと（抜粋）

- 10人に1人の割合でLGBTQの方がいることにビックリしました。
- LGBTQに関して学べる場所が少ないから良い経験でした。
- LGBTQであることは悪いことではないのだと思った。
私はまだ何もわからなくて、どんな感じなのだろうと思っていました。自分が思ったことのない部分を教えてもらえて、すごく勉強になりました。
- 1人だけLGBTQの方を見たことがあったが、その時一緒にいた子が良いイメージを持っていなかったから、その子と一緒に学びなおしてみようと思った。
- もし誰かからカミングアウトを受けたら相手の気持ちを大事にしたいし、私にできることがあれば何かしたいと思った。

まとめ

- 満島講師との出会いにより、LGBTQに関する基礎知識や経験談を聞き、学ぶことができたことは非常に貴重な経験となった。
- 中学生・高校生がLGBTQについてどのように考えるのかを知ることができた。
- 小さなキッカケではあるが、今回のような事業を通してLGBTQに関する理解者を増やし、その人たちが周りに働きかけることが誰もが過ごしやすい環境への近道になる。

ご静聴いただきありがとうございました

